

いちご栽培管理 (H30.12.)

(有) 丸 富

11月は天気が良く比較的暖かい天候だった。今期は台風の影響があり、二番花房の花芽分化がうまくいった。全体的に生育・収穫が約7~10日ほど遅れた。病害の発生は少なかった。

三番花房の細胞分裂促進

三番花房が(確認できないが)花芽分化したら、その後7~10日間は細胞分裂期になるので、細胞分裂に必要な養分を補給する。

細胞分裂促進に**天地の恵み 0.5~1 kg(又は笑顔 100~200g)/10a**と**サンミネーラ 50~100g/10a**を花芽分化後7~10日以内に2回灌水する。 ※バイオシャイングリーンを施用の場合は2~3 kg/10a

着色促進

着色は光合成によって促進する。着色肥大期はエネルギーを多く消費するので、株の充実を図る。

着色促進に**笑顔 1,000倍(又は天地の恵み 500倍)**と**サンミネーラ 10,000倍**を随時、葉面散布する。

肥大促進

果実の肥大促進はK、Siを活用して養分の転流効率を向上させることが効果的である。

肥大促進に**K-40 250g/10a**と**サンミネーラ 50~100g/10a**を1ヶ月に2回灌水する。

害虫対策

満月頃はダニなどが盛んに繁殖する。害虫の動向を注意深く観察する。

害虫対策に**バイオアクト TS 2,000~3,000倍**を5~7日毎に散布する。

灌水時に**バイオアクト TS**を**50~70 cc/10a**を液肥と混用する。(5~7日毎に)

光合成促進

イチゴは光合成によってデンプンや糖を生産し、葉や花、根、果実が生長する。

電照で生育をコントロールする場合、出蕾したばかりの果梗が30~45°になるくらいに点灯する。

光合成促進に**笑顔 1,000倍(又は天地の恵み 500倍)**と**サンミネーラ 10,000倍**を葉面散布する。

病害抵抗性の強化に**時を越えた贈り物 1,000倍**と**サンミネーラ 3,000倍**を散布(又は防除時に混用)する。

追肥(液肥)

できる限り少量多回数に分けて追肥する。施用量は土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 5~7 kg/10a

天地の恵み(又は時を越えた贈り物) 0.5~1 kg/10a

サンミネーラ 50~100g/10a

バイオアクト TS 50~70 cc/10a

5~7日毎に灌水する場合
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに、シカアップ 100 cc、海藻のエキス 50 g、イローグリーン(微量要素) 300 ccでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)